TELEC-T167

28GHz帯を使用する シングルキャリア周波数分割多元接続方式又は 直交周波数分割多元接続方式携帯無線通信を行う **陸上路動中継局及び陸上路動局(中継)** の無線設備 (28GH # #SC-FDMAVE OFDMA携帯無線通信 陸上移動中継局及び陸上移動局(中継))

第1.0数 4数6年9月30日

の特性試験方法

©2024 Telecom Engineering Center

内外用食物と内外収目 ■**PAR C P研究** 発射可能な関波数が3 波以下の場合は、全波で全試験項目について試験を行う。 発射可能な関波数が4 波以上の場合は、上中下の3 波の周波数で全試験項目につい

R & W II

を行う。 複数の用針可能な周波散帯域がある場合は、周波散帯域ごとに試験を行う。 複数の電気医等業者の周波散帯域がある場合は、電気通信事業者に割り当てられた 放散帯域ごとに試験を行う。)複数の搬送液を同時に送信する場合は、一の搬送液を使用する状態で測定を行うほか。 複数の搬送液を同時に使用する状態で試験を行う。また、複数の報合せがある場合は、5

本本的外の数 (1) 対域基準金融間における特性状態の場合 室内の延伸性、対ち、2.8.7.0.3により発電3.3.3.7.0 報題、表信4.3.8.3.1 (1914年) の最初らする。 (2) 国はに対ける特殊をの場合 上記におより情報を必要からでは、延度状態を行う。対策については、多発性 をを解析すること。

対 条 巻 巻 GC-PDMAXKOPDMA美学報道書音 を上が数十年記念でを上述書店 (中級)

(2) 成成の位といれては内でなめていませた。 は、成成の位とは対象を行う。 (2) 複数の空海がある場合は、一の空神を使用する状態で消変を行うはか、複数の空 あを同時に関する機能で実施を行う。 (2) 指上路報刊件 (下中) 反び無限別件 (上り) に対して、全域弊項について試験 万分、ただし、「開発・ナキン構造性力 (地域外科)」の試験項目は、非常空地力 の他上的報目(中国)のみに適用する。

2 / 25

©2024 Telecom Engineering Cente

TELEC-T167(第1.0版 80-FDMAX後のFDMA機像的価格 独上事業中間別及び独上事業場 (中間)

- 仮字項のつづき 6 ローアDMA工法のアDMA美容が開始 由上字章中原耳及び由上字項目 (中級) *** 行う。
(e) 上記にかかわらず、当分の間、TELEC-T150~TELEC-T153に規定
る入力レベルを使用してもよい。 予**告める** 工事政計者に子熟時間が必要である旨が明記されている場合は、記載された子熟時間経過 に関皮する。その他の場合は、子熟時間をとらない。

6 C-FDMA又及O FDMA物學做數強的 能上市場中級相及び他上市場局 (中級) 一直年限のつづき

2

4 / 25 © 2024 Telecom Engineering Cente

6 C-FDMAX在OFDMA與學術經過像 動士學學中國與及可能士學學與 (中國) 金合放射電力(TRP)は、次のとおり計算できる。 ア)受験機器を空中線からの空中線電力の総和が最大となる状態に設定して近役し 回定する。 僧の構造に基づき、測定用空中線又は受験機器を一定の角度 (測定機度 る角度) ごとに回転させ、各測定点についてP=---、v及びP=---。 両定する。 フ) 上記(イ) の前定値に伝送極端全体の複合損失を加えることにより、ΣΙΧΡ 及びΣΙΚΡ_πを計算する。 こ) 次式により、ΤΚΡを計算する。 $= \prod_{i=1}^{n} U(\theta,\phi) \times i n(\theta) d\phi d\theta$ $= \frac{1}{4\pi} \int_{0}^{2\pi} E \operatorname{IR} P(\theta, \phi) \times i \operatorname{n}(\theta) d\phi d\theta$ $= \frac{\pi}{2 \text{ NM}} \sum_{i=1}^{NL} \sum_{j=1}^{ML} \left[E \text{ I R Pv}(\theta_{i}, \phi_{i}) + E \text{ I R Pu}(\theta_{i}, \phi_{i}) \right] \times i \text{ m}(\theta_{i})$ ニニで、 TRP:総合放射電力(W) 4日:立体内(xr) 4日 立体角(xr)
 U(0,φ):立体角における放射強度(W/xr)
 N:0の範囲(0から=まで)の角度関係の数
 M:φの範囲(0から2xまで)の角度関係の数 法 上記(イ)において、一定の角度ごとに回転させる代わりに測定点が一定の面密度(測定構度が保証される面密度)で配置されるように回転させてもよい。その場合は、表式により、下来Pを計算する。 $TRP = \frac{1}{N} \sum_{i=0}^{N+1} \begin{bmatrix} E & I & RP_{N}(\theta_{i}, \phi_{i}) + E & I & RP_{M}(\theta_{i}, \phi_{i}) \end{bmatrix}$ で、 TRP:総合放射電力(W) N:データお助 3) 測定値に対する測定機度は、必要な試験項目において説明する。試験設備及び測定器 般正されたものを検用する。

5 / 25

6 / 25

通過状況 福祉支払扱のつづき 8 C-P DMAXROPDMA保管登録機構 設上等単十度および単上等業別(中国)

C7074 Talacon Engineering Center

TELEC-T167(第1.0版) 8 O-PDMAXROPDMA與學物類類像 独上学的中華組及び他上学事務(中華)

© 2024 Telecom Engineering Cont

一般事項のつづき

3 / 25

その他 (1) 含状験項目の結果は、測定値とともに技術基準の許容値を表示する。また、入力試験 号の情報(受調方式、サブキャリア問題、入力レベルの測定値等)についても合わせて3

7 / 25

6C-PDMAX花OPDMA海帯能量操作 設上事業中最終及び独上事業等 (中華)

5。 (3) 複数の製売波を同時に逆位する一の逆位装置とは、同一の逆位増幅器等のアクテー 級を担いたものかいう。

分 条 巻 巻 巻 6C-FDMARROFDMA教育機構業計 施上参照中最終及び施上参照版 (中級)

プログラス 交換機器 マルマス マルマス マルマス マルマス マルマス マスティス マス マスティス アスティス マスティス マスティス マスティス マスティス マスティス マスティス マスティス アスティス アス アス アス アス アス アス アス

「総分の利用技術表」、高度技能等的で認めて電視器(18.17)を加入している。 いるである。 1. 現代の環境には、「中央等等」の「工程開業性(2.3)」を参照すること。 (特別を発生では、1985年を対している。 (特別を発生では、1985年を対している。 (特別を発生では、1985年を対している。) (特別を対しているでは、1985年を対しているでは、この保管では国民技能等的、 を参照(4.0℃、5.0℃、6.0℃の5.0支機能の仕様の影響的で最初のもの)。 「一年にいるでは、1985年を対しては異なりを対しては、この保管では国民技能等的、 を参照(4.0℃、5.0℃、6.0℃の5.0支機能の仕様の影響的で最初のもの)。 「一年にいるでは、1985年を対しているでは、1985年を対しては、1985年を対している。」

5月状態 受難額を合動が終をして高度度深動機力に設置し、この状態で高度度延期機力 高度を3.8℃に、相対視度3.9%に対反機能が已禁の高減度度に設定する。 の内限では特別技能が、 しただっ物料抵抗、当成でが開発機力がなぐを設定等の可能に従し、特置していない ことを認じた後、指定で高度度(は1)を加えて受機能を動かさせる。 反映器をの用いて実験機の対象を変化する。 (後2) 反映器を3.0%に対して実験機の対象を変化する。 反映器を3.0%に対して実験機の対象を変化する。 反映器を3.0%に対象を3.0%に対象

対 泉 泉 基 6C-PDMARROFDMA開発機能開催 施上を助や施展及び防上が崩落(中高) (49年1日 | 日本日本 | 日本 | 日本日本 | 日本 | 日本日本 | 日本 | 日本日本 | 日本日本 | 日本 交換機器制能用 下出 空中線 比較快騰 取出的の条件号(1) 周波数計は、故形解析器を使用する。(2) 周波数計の割定確度は、規定の許容偏差の1/10以下の確度とする。 受機関の状態 (1) 必要な場合 (何 再生中継方式) は、外部試験接置から試験信号を加える。 (2) 試験調度数長び最大出力 (規定の入力レベル) に設定し、継続的パースト連信状態と (3) 空中線の指向性を固定する。(4) 複数の搬送板を同時に送せする場合は、一の搬送板を送往する状態のほか、複数の搬送板を同時に送せする場合は、一の搬送板を送往する状態のほか、複数の搬送板を同時に送せする状態に放定する。 **育意集件予規** 1) と1 R P の 3 次元を宣を行い、受験機器の空中得電力が最大となる方向に試験局立の 参議の政策 周度 仮の測定値をGHェ単位で表示するとともに、測定値の割目周度数に対する偏差をH 現在で (+) 又は (−) の容号を付けて表示する。

8 / 25

が 年 表 巻 6C-FDMA又はOFDMA教育機構製作 施上が集中金属及び物上学品版 (中位) (は号見生器) 女祭職器 スペクトル マンビュータ

にない。 成いこのひど节を。 野を他のおころ、5億 (例 250MHz) 野を他のから以下 (例 300kHz) 分解意像が振つ30程度 (例 1MHz) 新定機が延延さんの時間 (は) 104m/D1v 販売数に少したクラトルアナライギの選挙シ 104m/こと 400点以上 (例 1001点) 連定時が(成歩が変動しなくならまつ。 ボジテイダビーフ

注1 排引時間は、1データ点当たり1パースト周期以上となる時間とする

○要な場合は、外部試験装置から試験信号を加える。
 対験回放散及び最大出力(規定の入力レベル)に設定し、掲載的

おき消水液を振りつづき 8.0-PDMA又及OPDMA及砂部放送的 助上等場中能対及が防止等場長(中的)

「日本の主体」
(1) まとは、トッイでの設定さました。
(2) まとは、アンスである。
(3) まとは、アンスである。
(4) まとは、アンスである。
(5) まとは、アンスである。
(5) まとは、アンスである。
(5) まとは、アンスである。
(5) まとは、アンスである。
(5) まとは、アンスである。
(6) またが、アンスである。

夢見の表示 よ有周波数者福の測定値をMH x 単位で表示する。

3.4.443 13 (4) つ陰変する占有資政際機能が最大となる状態とは、変異力な(QP5K、10 QAM等)・サブキャリア開発が出途やで決定される信息条件のやで点質関政際機能 最大となる機能で、から、その信息を指すにおいて表出力の影響を与う。 2) 3 (4) 可能定する占有関政際機能/最大となる状態の特定が開催な場合は、指定され の環境の信息等に関連を行う。

京 教 司 対 条 番 基 スプリアス会計文は不理論計の改定 (スプリアス会計文は不理論計の改定 (スプリアス報制) 放送者の作品及び改正者の第(中報) 文殊機器制御司 | 小郎 空中器 | 四級安置 **田心条件等** 不要発射接索: 排引周波数幅 分解能療域幅 クトルアナライギの設定は、次のとおりとする。 (B1)
OOADS (1GHz 出版)
IMME (1GHz 出版)
IMME (1GHz 出版)
MCMRCHADOAGHE (B2)
MCMRCHADOAGHE (B2)
MCMRCHADOAGHE (B2)
MCMRCHADOAGHE (B2)
MCMRCHADOAGHE (M2)
MCMRCHADOAGHE (M2)
MCMRCHADOAGHE (M3)
MCMRCHADOAGHE (M3 ビデオ市域福 採引時間 Y軸スケール 入力レベル 法1 排引周波数幅及の設定は、次のとおりとする。 ア 陸上移動局対向(下り) 基地周対向(上り) 6 GHz ~ 1 Z · 7 5 GH 1 Z · 7 5 GHz ~ 2世間開放教物域の上原用放散の立倍 (2 S · 5 GHz ~ 3 1 · 0 GHz を除く。) 勝列時間は、1 データ点当たり 1 バースト周期以上となる時間とする。

スプリアス発音文章不可能的の意度 (スプリアスを記)のつづき お上等影中面は及び他上等を開催しませ を上等影中面は及び他上等を開催しませ ベクトルアナライザの設定! 協密した不要発射の関連数 - n z (1 G H z 未満)
1 MH z (1 G H z 以上)
分配影響域幅の3 信程度
測定制度が8 R M z 社 立 ら 時間
1 0 d B / D l マ
最大のダイナミックレンジとなら値
単形列
R M S Hz 100kHz (1GHz未満) (1GHz以上 ビデオ療験福 排引時間 Y輪スケール

エビルビーフェリック (第1.0例) メブリアス発射スル不正当的の由す 60-PDMARROPDMARROMERSH (スプリアス保険) 60-DDM スポロクトの出土が発展(作品) 接触の実施 必要な場合は、外部試験後置から試験信号を加える。 試験周波数及び最大出力(規定の入力レベル)に設定し、機械的バースト連信状態と 2) EIRPの3次末定度でいて、ヘヘルー 配置する。 3) 探索した不要発射のEIRPの最大値が誇客値以下の場合は、この最大値を測定値と 平均電力)とする。 (13) 複数の搬送波を同時に送信する場合は、一の搬送波を送信する状態で測定を行うは 複数の搬送波を同時に送信する状態で、各搬送波について測定を行う。



国中発生部 交換機器 受力的 マンピュータ 入力が認証を与明 空中等 文殊院報報報報 | 本本 文字器 | 下記を表表 (4) 未発展する。 (2) 全数相隔に対ける下放すを走める。 (3) 上記(2) で変わた下放すにバースト時間帯の逆数を楽した機を測定能とする。 (4) 複数の構造性を開味に提供する場合は、一の構造性を进供する機能で測定を行うはか 複数の構造性を開味に提供する機能で満定を行う。 節原の此界 空中標電力の測定値をW単位で、定格(工事設計書に記載される値)の空中標電力に対すく 偏乗を知順化で(十)または(一)の背号をつけて書示する。

18 / 25 ©2024 Telecom Engineering Center

□ 日本により、「日本によ 本事業を表現の表現のです。

(1) ままかで、スペラ シャナライの産業モードを加払に関化で発定でも参加に 現力能になって、スペラ シャナライの産業モードを加払に関化で発定でも参加し 現力能になって、メルタ シャナライクの企業でした。力は、、気が、長の場合した と開生らなことを事態に基準である。(13) は、スペラ シャナライイの中心原理を発達しているから、現代 データは まてったが用度を解説し、当の時間を使用性が得まるの時間(例 データは まくか ― A 同間 (1) カロリー (1) 大田 (1) 19 / 25 © 2024 Telecom Engineering Center

鉄 東 東 日 対 年 番 基 機会ナキル製造電力 塩上砂田中型利文で配上砂田 (中間)

20 / 25 © 2924 Telecom Engineering Center

(2) 電力測定時のスペクトルアナライデの設定は、次のとおりとする。
中心関波数 測定操作手順に示す周波数(注1)
排引周波数幅 測定操作手順に示す周波数幅(注1)
分解能管域幅 3 0 k H z ~ 1 M H z
ビデオ普減幅 分解能帶減幅の3倍程度
接引時間 測定轉度が保証される時間(注3)
Y 輸スケール 10 d B / D i v
入力レベル 最大のダイナミックレンジとなる値
データ点数 測定機度が保証されるデータ点数
接引モード 単語引
検査モード RMS
注3 揚引時間は、(データ点数×パースト開解×任意の自然数)とする。
全事物品の水田
(1) 必要な場合は、外部試験装置から試験信号を加える。
(2) 試験周波数及び最大出力 (規定の入力レベル) に設定し、継続的バースト送信状態とす
6,
(3) 空中線の指向性を固定する。
(4) 隣接チャネル圏後電力が最大となる状態に設定する。
(5) 複数の搬送波を同時に送信する場合は、一の搬送波を送信する状態のほか、複数の搬送
彼を同時に送信する状態に設定する。

果する。 ・) E:R P P の 3 次元走査を行い、受験機器の空中終電力が最大となる方向に試験用空中 を配置する。

22 / 25

©7074 Telecon Engineering Center

TELEC-T167 (第1.0版) 60-PDMAXEOPDMA與學術情報 由上等的中華組長の唯上字母等 (中華) **開催ティネル研究電力のつづき**

製金銀貨票 位号発生器 スペクトル アナライザ

23 / 25 © 2024 Telecom Engineering Center

	(1) 必要な場合は、外部試験装置から試験保号を加える。
	(2) 最大利得状態及び最大出力に設定する。
	(3) 空中線の指向性を固定する。
4	到汝恭作孝根
	(1) 信号発生器の周波数を離調周波数 (例 送信周波数者域の上端の+40MHz) に設定
	し、2 (1) で規定する出力レベルで無変調の連続故を送信する。
	(2) スペクトルアナライザの設定を2 (2) とし、中心周波数を推測周波数に設定する。
	(3) 信号発生器から受験機器の空中線に入力する試験信号のEIRP(E,) を測定により
	ゲンベル単位で求める。
	(4) 受験機器に信号発生器の試験信号を入力する。
	(5) EIRPの3次元を査を行い、受験機器の出力電力が最大となる方向に試験用空中線を
	配置する。
	(6) 探索した出力電力のEIRPの最大値(E.v.) をデシベル単位で測定する。
	(7) 当該難調周波数における希域外利待($= E_{***} - E_{***}$)を計算し、許容値以下の場合は、
	この値を測定値とする。
	(8) 上記 (5) の値が鈴客値を超える場合は、出力電力の全放射面におけるTRP (P。)
	をデシベル単位で求め、樹城外利得(= PE)を計算する。
	(9) 難調周波数を送信用波数巻域の上端の+40MHzから+500MHzまで、送信用波
	教养域の下端の一40MHェから一500MHェまで、一定の局波数問題(何 5MHェ)
	で変更して測定を繰り返す。
	(9) 複数の空中線から同一の周波数の電波を近信する場合は、各空中線における測定値の総
	ねを求める。
	製薬の食水
	(1) 希城外利得の測定値を上側及び下側の測定希城ごとに離躙周波数とともに、技術基準で
	規定する単位で表示する。
	(2) 各空中線の測定値の総和を求めたときは、測定値の総和のほか、各空中線の測定値を表

Z3 / Z5 © 2024 Telecom Engineering Center